



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 6 日

上場会社名 株式会社北川鉄工所 上場取引所 東証一部
 コード番号 6317 URL <http://www.kiw.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 北川 祐治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理担当 (氏名) 高橋 正義 TEL (0847) 45-4560

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年3月期第1四半期	10,688 4.3	449 △9.5	639 3.1	396 △7.0
19年3月期第1四半期	10,247 16.9	497 52.0	620 52.9	425 95.0
19年3月期	49,361 —	1,887 —	2,394 —	1,215 —

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	4.13	—
19年3月期第1四半期	4.45	4.43
19年3月期	12.66	12.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	54,651	23,363	42.6	242.26
19年3月期第1四半期	49,746	22,100	44.2	230.36
19年3月期	53,822	23,211	42.9	240.60

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20年3月期第1四半期	762	△805	486	9,166
19年3月期第1四半期	△170	△823	△800	8,776
19年3月期	3,371	△4,623	△634	8,703

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中 間 期	25,000	7.5	1,000	6.4	1,100	△5.3	600	△16.0	6.25
通 期	51,000	3.3	2,200	16.6	2,400	0.2	1,400	15.2	14.58

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う 特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(注) 詳細は、3 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における当社グループを取り巻く事業環境は、好調な国内外の建設機械や一般産業機械、海外向けの自動車産業、そしてその関連業種による民間設備投資に支えられ、受注・売上ともに順調に推移しました。その結果、当社グループ全体の売上は増加しました。

また、当社グループでは、平成19年4月を起点とする3ヵ年の中期事業計画・「KITAGAWA MID100Plan」に取り組んでおります。その中で金属素形材事業は、大型の設備投資による生産体制の強化を順次進めており、他の事業においても品質向上、生産性の改善によるコスト競争力の強化、新商品の開発と市場導入を進め、全事業とも顧客サービスの充実に注力しました。しかしながら、原材料の高騰や減価償却費の負担増などの影響により、利益が減少しました。

その結果、当第1四半期の業績は、売上高 10,688 百万円（前年同期比 4.3%増）、営業利益 449 百万円（前年同期比 9.5%減）、経常利益 639 百万円（前年同期比 3.1%増）、四半期純利益 396 百万円（前年同期比 7.0%減）となり、前年同期と比べて増収・減益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、金属素形材事業を中心とした設備投資による有形固定資産の増加などにより前期末に比べ828百万円増加し、54,651百万円となりました。

負債は、短期借入金の増加などにより前期末に比べ676百万円増加し、31,287百万円となりました。

純資産は、当四半期純利益396百万円の計上による増加や配当金480百万円の支払による減少及び円安の影響による為替換算調整勘定の増加などにより前期末に比べ152百万円増加し、23,363百万円となりました。純資産から少数株主持分を差し引いた自己資本は23,269百万円となり、自己資本比率は42.6%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額やたな卸資産の増加がありました。売上債権の減少などにより762百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得などにより805百万円支出しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加などにより486百万円の収入となりました。

これらにより当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ462百万円増加し、9,166百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成19年3月期決算発表時の平成19年5月14日に公表した中間期及び通期の連結業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・有形固定資産の減価償却の方法……年度見込額のうち当四半期分を計上しております。
- ・税金費用の計上基準……一部の連結子会社については、簡便な方法により算定しております。
- ・その他影響額が僅少なものについては、簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5.（要約）四半期連結財務諸表

(1)（要約）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円、％）

科目	前期末 (平成19年3月期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	8,545	9,008	462		8,593
2 受取手形及び売掛金	19,053	17,026	△2,027		16,860
4 たな卸資産	6,341	7,946	1,604		8,284
5 その他	1,019	994	△25		642
流動資産合計	34,961	34,974	13	0.0	34,380
II 固定資産					
1 有形固定資産	15,742	16,541	798		12,436
2 無形固定資産	382	381	△0		355
3 投資その他の資産	2,736	2,753	17		2,573
固定資産合計	18,861	19,676	815	4.3	15,365
資産合計	53,822	54,651	828	1.5	49,746

科目	前期末 (平成19年3月期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増減		前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)
	金額	金額	金額	増減率	金額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	11,370	10,933	△437		9,696
2 短期借入金	4,744	5,714	970		4,368
3 1年以内に返済予定 の長期借入金	4,200	3,300	△900		2,863
4 その他	4,733	4,920	187		3,572
流動負債合計	25,048	24,868	△180	△0.7	20,500
II 固定負債					
1 長期借入金	2,700	3,600	900		4,230
2 その他	2,863	2,819	△43		2,913
固定負債合計	5,563	6,419	856	15.4	7,144
負債合計	30,611	31,287	676	2.2	27,645
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	8,640	8,640	—		8,640
2 資本剰余金	5,090	5,090	—		5,090
3 利益剰余金	8,509	8,424	△84		7,719
4 自己株式	△86	△90	△3		△71
株主資本合計	22,152	22,064	△87	△0.4	21,377
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券 評価差額金	591	626	35		627
2 為替換算調整勘定 評価・換算差額等合計	369	578	209		5
	960	1,204	244	25.5	632
III 少数株主持分	98	94	△4	△4.4	90
純資産合計	23,211	23,363	152	0.7	22,100
負債純資産合計	53,822	54,651	828	1.5	49,746

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 平成19年3月期 第1四半期	当四半期 平成20年3月期 第1四半期	増減		前期 (平成19年3月期)
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	10,247	10,688	441	4.3	49,361
II 売上原価	8,349	8,730	381	4.6	41,535
売上総利益	1,898	1,958	60	3.2	7,826
III 販売費及び一般管理費	1,400	1,508	107	7.7	5,938
営業利益	497	449	△47	△9.5	1,887
IV 営業外収益	180	250	70	38.8	727
V 営業外費用	57	60	3	5.5	220
経常利益	620	639	19	3.1	2,394
VI 特別利益	4	77	73	1,747.3	—
VII 特別損失	10	53	43	397.0	168
税金等調整前四半期 (当期)純利益	613	663	49	8.1	2,225
税金費用	179	271	92	51.5	993
少数株主利益	8	△4	△13	△149.9	16
四半期(当期)純利益	425	396	△29	△7.0	1,215

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	前年同四半期 〔平成 19 年 3 月期 第 1 四半期〕	当四半期 〔平成 20 年 3 月期 第 1 四半期〕	前期 (平成 19 年 3 月期)
	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	613	663	2,225
減価償却費	401	458	1,680
売上債権の増減額(増加：△)	929	2,070	△1,197
たな卸資産の増減額(増加：△)	△747	△1,568	1,236
仕入債務の増減額(減少：△)	△1,101	△481	511
その他	154	427	△359
小計	250	1,570	4,097
利息及び配当金の受取額	18	29	82
利息の支払額	△46	△50	△189
法人税等の支払額	△392	△786	△618
営業活動によるキャッシュ・フロー	△170	762	3,371
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△871	△1,124	△4,572
その他	48	318	△51
投資活動によるキャッシュ・フロー	△823	△805	△4,623
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少：△)	△320	970	55
長期借入れによる収入	—	900	1,900
長期借入金の返済による支出	△22	△900	△2,117
配当金の支払額	△453	△480	△453
その他	△2	△3	△18
財務活動によるキャッシュ・フロー	△800	486	△634
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	5	19	25
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少：△)	△1,788	462	△1,860
VI 現金及び現金同等物の期首残高	10,564	8,703	10,564
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	8,776	9,166	8,703

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前年同四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期)

	金属素形材 事業 (百万円)	工機 事業 (百万円)	産業機械 事業 (百万円)	駐車場 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	4,115	3,140	1,877	1,114	10,247	—	10,247
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	35	0	0	—	36	(36)	—
計	4,150	3,140	1,877	1,114	10,283	(36)	10,247
営業費用	3,999	2,450	1,900	1,120	9,471	278	9,749
営業利益又は 営業損失(△)	150	690	△22	△6	812	(314)	497

当四半期 (平成 20 年 3 月期第 1 四半期)

	金属素形材 事業 (百万円)	工機 事業 (百万円)	産業機械 事業 (百万円)	駐車場 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	4,478	2,925	2,174	1,110	10,688	—	10,688
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	51	1	2	—	55	(55)	—
計	4,530	2,926	2,176	1,110	10,744	(55)	10,688
営業費用	4,511	2,323	2,002	1,146	9,983	255	10,238
営業利益又は 営業損失(△)	19	603	173	△36	760	(310)	449

前期 (平成 19 年 3 月期)

	金属素形材 事業 (百万円)	工機 事業 (百万円)	産業機械 事業 (百万円)	駐車場 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する 売上高	17,321	12,615	9,967	9,457	49,361	—	49,361
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	141	5	4	0	152	(152)	—
計	17,463	12,621	9,971	9,457	49,513	(152)	49,361
営業費用	17,137	10,185	9,875	9,063	46,261	1,212	47,474
営業利益	325	2,435	96	393	3,252	(1,364)	1,887

(注) 1 製品の種類、損益集計区分及び関連資産に照らし、事業区分を行っております。

2 各事業の主な製品

- (1) 金属素形材事業 生型機械鋳鉄品、ロストワックス精密鋳造品、消失模型鋳造品、MIM 焼結品
- (2) 工機事業 旋盤用チャック、油圧回転シリンダ、NC円テーブル、パワーバイス、NC旋盤
- (3) 産業機械事業 コンクリートミキサ、コンクリートプラント、クレーン、ウインチ、環境関連設備及びリサイクルプラント
- (4) 駐車場事業 自走式立体駐車場、ユニットハウス